

「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る効果・検証について
 (「平成28年度実績及び平成29年度事業概要」)

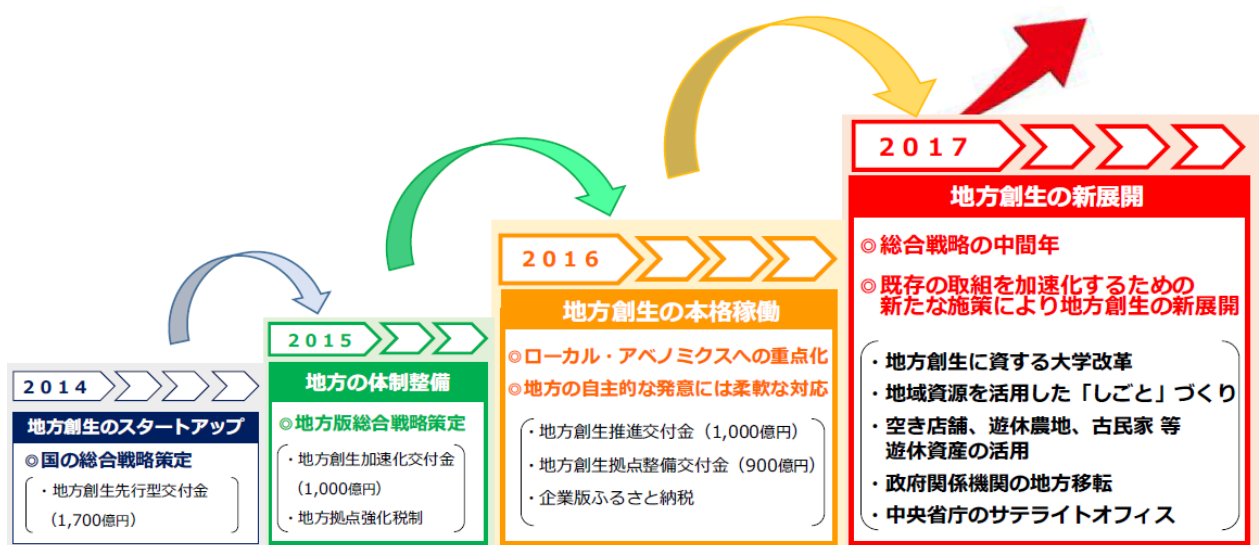
1 はじめに ～国と市の地方創生について～

地方創生は、少子高齢化に歯止めをかけ、地域の人口減少と地域経済の縮小を克服し、将来にわたって成長力を確保することを目指しており、国は、平成26年度に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、人口の将来の方向などを提示する「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」と、本ビジョンの内容を踏まえた5か年の政策目標や施策をまとめた「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

また、本市でも平成27年度に、市における人口の現状や将来人口の推計、将来展望を踏まえ、目指すべき将来の方向を定めた「鎌ヶ谷市人口ビジョン」や、人口ビジョンを踏まえ、本市の地方創生を着実に進めていくための具体的な施策を定めた「鎌ヶ谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

このように、地方創生は、平成26・27年度の国及び地方における総合戦略の策定を経て、昨年度から本格的な事業展開に入っており、今年度は「総合戦略」の中間年にあたります。

国では、地方公共団体に対し、財政支援をはじめとした支援を行い、現在の取組を更に進化させるとともに、地方創生を加速化するための取組みを行っていますが、本市においても、総合戦略に位置付けた事業のうち、新規で実施する事業や拡充していく事業について、今年度当初予算に計上し、積極的な事業展開を図っていると同時に、国が交付する「地方創生推進交付金」を活用し、市の地方創生を推進しています。



「まち・ひと・しごと創生基本方針2017 より

2 総合戦略の推進について

市の総合戦略では、人口ビジョンで掲げた将来人口の達成に向け、3つの方向性（自然増、社会増、定住）に沿って、4つの基本目標を設定しており、この基本目標に対し、68の具体的な施策、149の具体的な事業を掲げています。

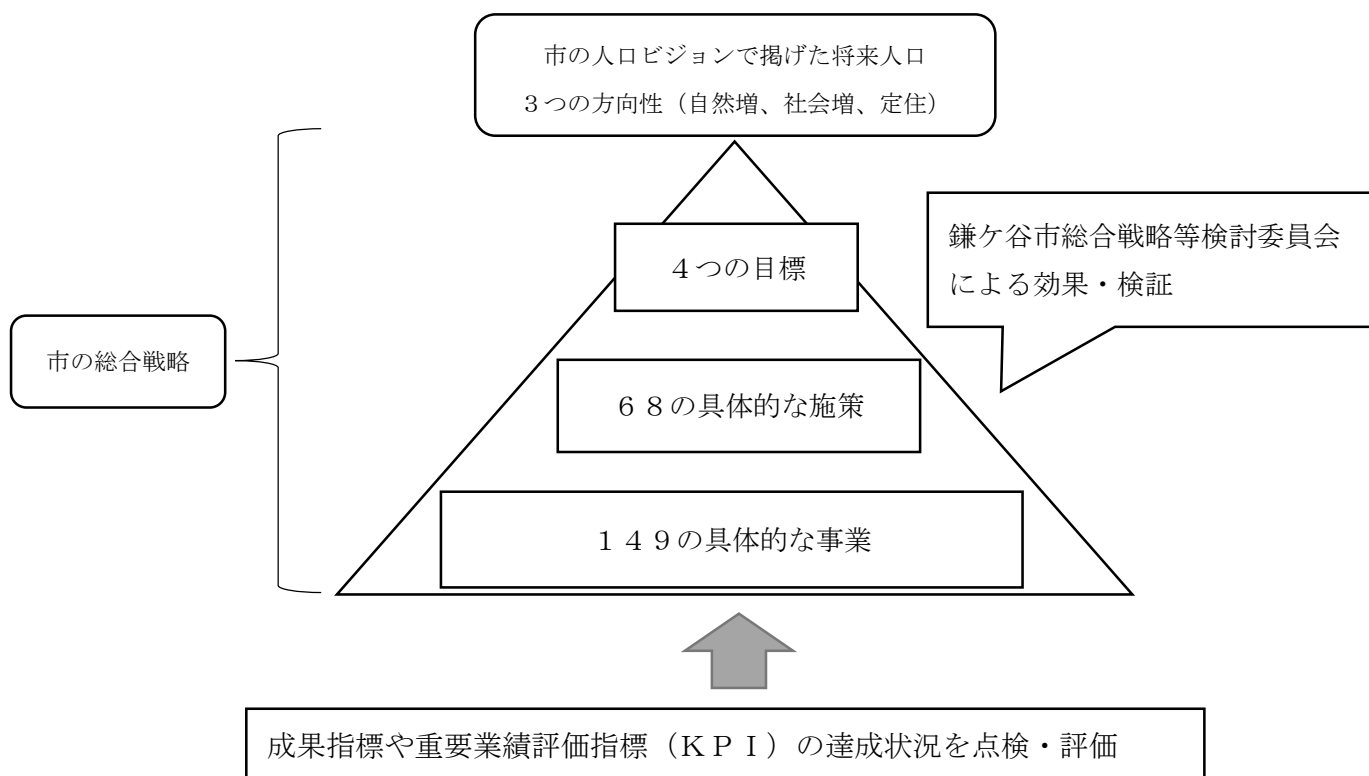
市では、4つの基本目標を柱として、各施策の基本的方向を踏まえ、施策に掲げる重要業績評価指標（KPI）の目標に近づくよう、国の交付金（昨年度は「地方創生加速化交付金」）を活用しながら、市民との協働により事業を推進しています。

3 施策の効果・検証について

総合戦略に掲げる各施策を着実に実施していくとともに、総合戦略に位置付けた施策の効果を検証するため、市では、数値目標による進捗管理を行うことを総合戦略では定めています（総合戦略 55 頁参照）。

具体的には、本市で既に導入・実施している行政評価制度を活用し、各基本目標及び施策に設定した成果指標や重要業績評価指標（KPI）を踏まえ、点検・評価を行います。

また、効果・検証にあたっては、その妥当性や客観性を担保するため、「鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会」を開催し、施策の効果を検証します。



4 平成 28 年度 of 取組結果等に係る評価について

上記「3」を踏まえ、市では、平成 28 年度 of 取組結果及び今後の課題等について、総合戦略に掲げる 4 つの基本目標及びそれぞれの具体的な施策、事業ごとに評価を行いました（資料 2 参照）。

「鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会」では、これらの事業実績について、効果・検証を行っていきます。

（1）成果指標、重要業績評価指標の進捗状況

①基本目標の成果指標に係る進捗状況

	成果指標名	平成 28 年度実績値 (平成 27 年度実績値)	平成 31 年度目標値
基本目標 1	社会増加数	86 人 (18 人)	1,000 人
基本目標 2	合計特殊出生率	1.28 (1.33)	1.6
基本目標 3	雇用・就労人数	127 人 (163 人)	合計 290 人 1,275 人
基本目標 4	自治会加入世帯数	28,812 世帯 (29,143 世帯)	29,800 世帯
	自主防災活動実施回数	64 回 (57 回)	120 回

②具体的事業の重要業績評価指標（K P I）に係る進捗状況（前年度比較）

	重要業績評価指標の数	上昇	維持	低下
基本目標 1	13	9	1	3 (0)
基本目標 2	32	16	11	5 (1)
基本目標 3	20	10	5	5 (0)
基本目標 4	32	15	8	9 (3)
	97	50	25	22 (4)

※「低下」の欄の括弧内数値は、前年度と比べ数値が低下したものの、31 年度の目標値を既に達成している指標の数。

5 今後の市の地方創生について

前述「4」のとおり、総合戦略の各施策の実績について、鎌ヶ谷市総合戦略等検討委員会で効果・検証を行うとともに、今年度実施している地方創生の取組みも踏まえ、平成30年度以降の取組みについて、意見交換していきます。

○平成29年度実施している市の地方創生の取組み

平成29年度は、総合戦略の3年目として、これまで2年間取り取組んできた総合戦略に掲げる事業について、より一層力を入れていくとともに、総合戦略に掲げた4つの基本目標の指標達成に向け、事業の推進を図っています（詳細は、資料2の「平成29年度の実施概要」を参照）。

また、総合戦略に位置付けた事業のうち、先駆性を有し、特徴ある取組みとして、国の交付金である「地方創生推進交付金」を活用することで、積極的に市の地方創生に取り組んでいます。

今年度取り組んでいる総合戦略の事業（一例）

成果指標1 人々が交流・定着する、魅力あふれるまちづくり

- (1) 観光ビジョン推進事業
- (2) 北海道日本ハムファイターズとの連携強化事業
- (3) 桜×鎌ヶ谷＝魅力アップ事業
- (4) イルミネーション整備事業
- (5) 市民参加型スポーツイベント事業
- (6) 都市のブランド化事業



成果指標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり

- (1) 婚活イベントの実施 新規事業
- (2) ライフデザイン手帳作成・配布事業 新規事業
- (3) 民間保育所整備助成事業
- (4) 子ども医療費助成拡大事業
- (5) 特別支援教育推進事業
- (6) 地域子育て支援拠点事業（つどいの広場）
- (7) 病児保育整備事業
- (8) 子育て支援PR事業（子育て応援イベント等の開催）
- (9) 就労支援セミナー実施事業



成果指標 3 働きたいという希望をかなえるまちづくり

- (1) シルバー人材センター活用・就労促進事業
- (2) 空き店舗活用事業
- (3) コミュニティ・ベンチャービジネス事業補助金
活用促進事業
- (4) “かまたん”を活用した農産物ブランドPR事業
- (5) 鎌ヶ谷農産物ブランドの育成及び認定農家拡充事業
- (6) 女性の就職促進支援事業



成果指標 4

あらゆる世代の誰もが安心して暮らすことのできる、支え合いつながり合う地域づくり

- (1) 新京成線連続立体交差事業
- (2) コミュニティバス運行助成事業
- (3) 空家等対策事業
- (4) 住宅用省エネルギー・再生可能エネルギー設備設置促進事業
- (5) 老人憩の家整備及び維持管理補助事業
- (6) 市民活動相談事業
- (7) 北千葉道路整備事業



地方創生推進交付金を活用した事業

○「ふるさと名物商品推進事業」

昨年度に引き続き、市内の農業団体（ふるさと梨の会）や商工会、日本ハムファイターズと連携し、市の特産物である梨のインターネットによる販売を実施するとともに、羽田空港によるPRイベントや、北海道及び沖縄県において、梨及び市のふるさと商品の販売を促進し、これらの知名度向上や販路拡大を図り、農家の後継者不足の解消を目指していきます。

